



わくわく
くしろが
ちかくなる。

道東自動車道

白糖IC·蔗路IC·阿寒IC

釧路外環狀道路

開通しました!!

くしろ急接近

本別 ↔ 釧路
Honbetsu Kushiro

無料
No charge



お問い合わせ

ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会

TEL0154-43-9147(釧路総合振興局地域政策課)

WEBサイト「オールくしろドライブガイド」公開中！ [オールくしろドライブ](#) [検索](#)



爽快! シーサイドライン

〔総移動距離約150km〕 3P^

酪農王国くしろの牧場体験

〔総移動距離約100km〕 9Pへ

見る・歩く・遊ぶ・湖めぐり

[総移動距離約186km] 13Pへ

美術館・動物園から湿原へ

〔総移動距離約80km〕 17Pへ

楽しみいろいろ温泉三昧

[総移動距離約67km] 21Pへ

タンチョウに会いに行こう！

[総移動距離約55km] 23Pへ

※掲載内容は平成 28 年 1 月現在の情報の為、料金等変更になる場合があります。



白糠町

白糠の特産品を多数取り揃え 道の駅 しらぬか恋問



入り口そばにある「恋が叶うポスト」は、全国初のハート形ポスト。手紙で想いを伝えたい人にオススメ！



白糠漁協直売の新鮮な魚介、野菜や乳製品など白糠産の食材が一堂に揃う道の駅。全国的な人気を誇るしそ焼酎「鍛高譚（たんたかたん）」をはじめ、しそ醤油、ドレッシングなど白糠産のしそを使った商品が充実しています。オリジナルキャラクターのストラップやお守りなどは、お土産にぴったり。



人気ナンバーワンの「鍛高ラムネ」。1本154円（税込）。6本入り化粧箱セット（オリジナルタオル付）1,074円（税込）。

白糠郡白糠町コイトイ40番地3
TEL01547-5-3317
休館日 無休（4月～10月）
毎週水曜日定休日（11月～3月）
※水曜日が祝日の場合は翌日
年末年始（12月31日～1月2日）

開館時間 9:00～19:00（5月～8月）
9:00～18:30（9月～4月）
レストラン 9:30～18:30※レストラン不定休
レストランTEL01547-5-3224

URL <http://koitoi.com/>

オリジナルキャラクターのコイタクんとメイカちゃん



「道の駅しらぬか恋問」の裏手に広がるのは、太平洋の広大さを間近に感じることができる「恋問海岸」。波音を聞きながら、ゆったりと砂浜散策が楽しめます。映画「僕等がいた」「ハナミズキ」のロケ地でもあり、デートスポットとしてもオススメです。

オススメ商品がいっぱい
です！



道の駅 しらぬか恋問

釧路市

釧路市民の台所 和商市場



60年以上親しまれている釧路が誇る和商市場は、北海道三大市場のひとつ。港町釧路の活気あふれる店内には50を超えるショップがあり、ずらりと並ぶ魚介は新鮮そのもの。大きなサケやカニが、釧路の海の幸の豊富さを物語っています。お土産に人気のお菓子や珍味も数多く、釧路市内の観光には外せないスポットです！

日本酒や北海道銘菓が並ぶ「くしろキッチン」で地酒福司を購入し、釧路地域の厳選商品が購入できる「マルシェくしろ」でおつまみ選びを楽しみました。



どの商品も魅力的！

釧路市黒金町13-25
TEL0154-22-3226

営業時間 1月～3月（月～土）8:00～17:00
（日曜営業）8:00～16:00
4月～12月（月～土）8:00～18:00
（日曜営業）8:00～16:00

休業日 HP和商市場カレンダーにて記載

URL <http://www.washoichiba.com>

地図



釧路町

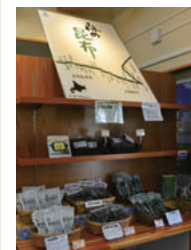
釧路町産の新鮮食材をゲット

釧路町地産地消センター ロ・バザール



釧路町自慢の蜂蜜や昆布の加工品、仙鳳趾（せんぼうし）産のカキやツブなどが並ぶ釧路町の新名所。地元民から人気が高い野菜直売コーナーは、お昼前には売り切れてしまうほど。イチオシは、地元産昆布を使用した5種類の調味料「昆活シリーズ」。中でも、店長のオススメは「昆活わいん醤油」390円（税込）で、1ヶ月に1,000本以上も売り上げた人気商品とのこと。お得な「昆活ギフトセット」2000円（税込）もお土産には最適！

緑豊かな別保公園内にあるロ・バザール。物販棟とレストランに分かれていて、ゆったり過ごせます。



釧路郡釧路町
字別保原野南24線78-6
TEL0154-62-2216

営業時間 物販棟 9:00～18:00
レストラン 10:30～18:00
定休日 年末年始

URL <http://www.lo-bazaar.com/>



木のぬくもり溢れるレストランでは、蒸しカキや海藻ポークの生姜焼き定食、昆布森産の昆布を練り込んだ昆布そばなど、釧路の食材を使った多彩なメニューが味わえます。

和商市場

釧路町地産地消センター ロ・バザール

太平洋と海岸線の芸術的美しさ 賤夫向展望広場

アイヌ語で「樹木の少ない山で、石落ちるところ」という意味を持つ賤夫向(セキネツ)。その名の通り、切り立った断崖から迫力の眺望を味わうことができます。



広々とした駐車場からも、シーサイドラインの広大さを感じることができます。地名はアイヌ語に由来し、漢字表記を当てはめられたもの。道道142号の尻羽岬から昆布森にかけて、難解な漢字の地名が続くため「難読地名ロード」と名付けられています。

地図



釧路郡釧路町仙鳳趾村入境学65-1
TEL0154-62-2111 (釧路町役場)

URL 釧路町観光博物館 <http://www.town.kushiro.lg.jp/kankou/index.html>

食事にも休憩にも人気の充実空間

道の駅 厚岸グルメパーク 厚岸味覚ターミナル・コンキリエ



広々とした販売スペースには、ここでしか入手できないオリジナル商品が盛りだくさん。カキの美味しさ、厚岸の魅力が詰まっています。また、1階奥の水族館では、厚岸湖・厚岸湾に生息する貝類や、アメマスなどの淡水魚が展示されています。ゆったりとした時間が流れる中で、癒しのひとときを過ごしてみませんか？

厚岸郡厚岸町住の江2丁目2番地
TEL0153-52-4139

営業時間 4月～10月/ 9:00～19:00
11月～12月/ 10:00～19:00
1月～3月/ 10:00～17:00

休業日 月曜日(祝祭日の場合 火曜日)

URL <http://www.conchiglie.net/>



深い味わいがクセになる「オイスター☆モカ」300円(税込)は、同店オリジナル「厚岸オイスターソース」を練り込んだスペシャルスイーツです！

カキの貝殻をイメージして造られた「コンキリエ」。施設内は、レストランや展望室、観光案内所など9つのスペースで構成されています。



2階の魚介市場では、カキやサンマなどの新鮮食材がずらり。購入後、館内施設で屋内バーベキューが堪能できます。

徳川幕府によって建立された寺 史跡 国泰寺跡



文化元年(1804年)江戸幕府によって建立され、現在では国指定の史跡である国泰寺跡。北辺警備の役割を果たした蝦夷三官寺のうちのひとつ。現在の建物は改修されたものですが、江戸時代の風情を伝えています。樹齢180年を超える老桜樹があり、桜の名所としても有名。

厚岸郡厚岸町湾月1丁目5番地

URL <http://www.akkeshi-town.jp/rekishibunka/bunkazai/8>

地図



敷地内にある「龍王殿」は、地元漁師さん達の豊漁祈願の場としても使われています。海の恵みに感謝をすると、良いことがあるかも?!



国泰寺周辺には緑が多く、散策にもぴったり。歴史に触れるとともに、すがすがしい気分になれる場所。

想いを叶える鐘 愛冠岬



愛冠(アイカップ)岬は「できそうもない困難を乗り越え愛の栄冠を得る」との思いを込め、名づけられました。眼下には筑紫恋(チクシコイ)海岸が広がり、正面には厚岸湾に浮かぶ大黒島・小島など勇壮な景色が広がります。「愛の鐘ベルアーチ」の鐘を鳴らすと、あなたの想いも叶うかも!



厚岸町愛冠5番
TEL0153-52-3131
(厚岸町役場)

URL <http://www.akkeshi-town.jp/kanko/shisetsu/3>

木々に囲まれた道を10分程歩き、岬に到達します。途中、草を食むエゾシカたちに会える可能性も!



厚岸町 断崖絶壁の海とあやめの絶景 原生花園あやめヶ原



入口から600mほど進むと、あやめヶ原の先端「チンベ展望台」へ到着。雄大な景色に思わず深呼吸!



圧巻の景色!

6月下旬から7月上旬が見ごろ。アヤメのほか、キンボウゲやエゾスカシユリなどが6月に見ごろを迎えます。アヤメを保護する目的で園内に馬が放牧されており、約10頭の馬たちが草を食んでのんびり過ごす風景に心癒されます。



園内から見下ろす海の景色の美しさも、あやめヶ原の魅力のひとつ。太平洋に浮かぶ小島や大黒島が一望できます。

お問い合わせ先 厚岸町役場まちづくり推進課
厚岸郡厚岸町真栄3丁目1番地 TEL0153-52-3131

地図



浜中町 花の霧多布湿原は歩いて楽しもう 琵琶瀬木道



色んな発見がありそう!



霧多布湿原では、4月頃にフクジュソウなどの開花が始まり、8月頃まで多種多様な花の鑑賞が楽しめます。7月に見ごろを迎えるのは、ワタスゲ、エゾカンゾウ、ハマナスなど。川岸までの約500mの木道を歩くと、湿原の広大さを実感できます。

お問い合わせ先

浜中町商工観光課
厚岸郡浜中町霧多布東4条1丁目35番地1
TEL0153-62-2111
(観光直通0153-62-2239)

地図



湿原に夏を告げるエゾカンゾウの群生。一挙に咲き誇る花を鑑賞しながらの散策は霧多布湿原ならではの。

浜中町 海の上を歩いているような感覚 霧多布岬



岬に到達するまでの遊歩道の魅力は、何といても絶景を堪能しながら散策できること! コシジロウミツバメが飛ぶ姿も見られるかも。



厚岸郡浜中町湯沸 TEL0153-62-2111 (浜中町役場)

URL <http://www.kiritappu.jp/home/nn/midokoro/7kiritappu/7midokoro.html>



太平洋の壮大さを感じます!

霧多布岬

霧多布岬は、正式名称を湯沸(トウフツ)岬といい、トッカリ(アザラシ)を見かけることからトッカリ岬とも呼ばれています。標高40~60メートル地点からの大きく開けた景色は圧巻! 日の出・夕日の綺麗なスポットとしても有名な景勝地です。映画「ハナミズキ」では、重要なシーンのロケ地として使用されました。

浜中町 広大な湿原を眺めて思わず長居 霧多布湿原センター



花の湿原とも呼ばれ、国内最大級の広さを誇る霧多布湿原は自然の魅力満載! その魅力を発信しているのが霧多布湿原センター。広大な湿原から太平洋まで一望できる展望ホールにあるカフェでは、浜中産の旬の魚や濃厚な乳製品を味わえます。

厚岸郡浜中町四番沢20
TEL0153-65-2779

入館料 無料

営業時間 9:00~17:00

休館日 5月~9月無休 10月~4月火曜
(冬期休館: 12/27~12/29、1/4~2/10)

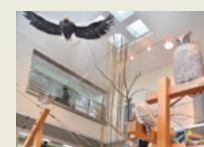
URL <http://kiritappu.mond.jp/center/>

地図



青空と湿原の緑がとってもキレイ

エゾカンゾウが描かれた手ぬぐいや絵はがきなど、霧多布湿原の魅力を表現した商品が目玉ミュージアムショップ。ジャムや昆布のおやつにも注目です。



エントランスホールに飾られた、本物そっくりな木彫りの鳥たち。専用のタッチペンで鳥のマークをタッチすると、それぞれの鳴き声が!

酪農王国くしろの牧場体験

総移動距離
約100km



鶴居村

馬の背中から景色を満喫 鶴居どさんこ牧場

どさんこと
味わう風景は
格別です！



どさんことのふれあいを心ゆくまで楽しめる「鶴居どさんこ牧場」。壮大な景色の中でのホーストレッキングは最上のひととき。山林でゆっくりと乗馬を楽しむ2時間コース9,000円/人(税込)、1日かけてどさんこと一緒に釧路湿原を堪能できる1日コース17,000円/人(税込)や気軽に楽しめる引き馬1,100円/人(税込)などで、どさんこと一緒に釧路湿原の自然を感じると、日常とは全く違う世界が味わえるかも。



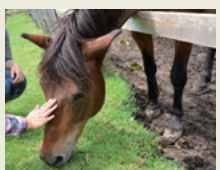
宿泊施設でもあるゆったりとした館内では、カレーやピザなどの食事が楽しめます。窓からは、放牧されているどさんこを眺めることができます。



大人しくて
可愛い子
ばかり
です！



どさんこは、その優しい目からも分かるように、穏やかで人に従順な性格であること、アニマルセラピーにも用いられています。



牧場にいるどさんこたちは1年を通して昼夜放牧され、のんびり育まれています。



あそびに
来てね

阿寒郡鶴居村字久著呂71の1
TEL0154-64-2931

営業時間 ホーストレッキング(要予約)
引き馬 9:00~16:00
カフェ 11:00~16:00

休業日 天候や予約状況により休業の場合有(要問合せ)

URL <http://dodankofarm.com/>

地図



標茶町

地平線が見える育成牧場 多和平



牛たちの
ご飯の時間
でした！

焼き立てパンやオリジナル商品が並ぶ「グリーンヒル多和」。落ち着いた雰囲気のレストランスペースでは、標茶町のブランド牛「星空の黒牛」が味わえます。



川上郡標茶町字標茶788番地5(上多和)
TEL015-486-2806

営業時間 9:00~17:00

休業日 冬期間(12月上旬~4月下旬)

URL <http://www.sip.or.jp/~taw360/kankou-top.html>



展望台からは、斜里岳、西別岳や阿寒の山並みを見渡すことができ、道東の自然の大きさを実感できます。

360度の地平線が見渡せる大牧場で、標茶町を代表する観光スポットです。朝日・夕日の名勝であり、夏はキャンプ場として多くの観光客で賑わいます。牛や羊たちが大草原の中で過ごす風景を間近で感じてみませんか？



弟子屈町

弟子屈町の特産品がいっぱい 道の駅 摩周温泉



しほり
たての牛乳
で作られて
います



新鮮野菜や摩周そば、工芸品など弟子屈町の名産品が集う「道の駅摩周温泉」。開放感のある中庭でくぐりむ童話のフレッシュなジェラードを食べて気分爽快！最大14種類から選べるジェラードアイスクリームは、シングル各350円(税込)。



自慢の
食材が盛り
だくさん
です！



川上郡弟子屈町の鳥3丁目5番5
TEL015-482-2500

営業時間 8:00~18:00(5~10月)
9:00~17:00(11~4月)

休業日 年末年始(12/30~1/3)

URL <http://www.masyuko.or.jp/michinoeki/index.html>

鶴居どさんこ牧場

多和平

道の駅 摩周温泉

ありのままの牧場の姿を 渡辺体験牧場



「渡辺体験牧場」は、その名の通り酪農体験を満喫できる人気スポットです！今回体験したのは「乳搾りとトラクターで草原周遊コース」1,620円/人（税込）で、乳搾り体験、牛乳試飲、トラクターで大草原周遊、エサやり体験を満喫しました。体験別単品メニューもあり、気軽に酪農現場の魅力を体験できます。



体験ハウス内にあるお土産コーナーには、ぬいぐるみやTシャツなどの牛柄グッズがいっぱい！「牛のおっぱいミルク」230円（税込）や「牛のおっぱい飲むヨーグルト」180円（税込）など、オリジナル乳製品も充実。牛乳入りの「摩周ジンギスカンのたれ」648円（税込）もオススメ。



200名収容可能なバーベキューハウスでは、「摩周ジンギスカンのたれ」を使用したボリューム満点のジンギスカンが味わえます。ライス・ウーロン茶付きで1,620円（税込）。



川上郡弟子屈町弟子屈原野646-4
TEL015-482-5184

【営業時間】4月中旬～10月末
9:30～15:30の受付

【休業日】冬期間（11月上旬～4月中旬）は要問合せ

【URL】<http://www.wataiken.co.jp/>



目の前に広がるのは、摩周山麓の草原70ヘクタールの広大な敷地。120頭もの乳牛が愛情たっぷりのスタッフの皆さんと共に過ごしています。



全国「酪農教育ファーム」に認証されている同牧場では、体験を通して、命の尊さ、自然と共生していくことの大切さについて学ぶことができます。

摩周ブルーに癒される 摩周第一展望台

雄大な姿を見せる摩周岳と湖のコントラストは摩周湖の象徴的風景で、言わずと知れたビューポイントです。北海道土産が揃うレストハウスがあり、観光客にも地元客にも人気。さっぱりとした味わいの摩周ブルーソフト300円（税込）はイチオシです！



レストハウス

川上郡弟子屈町弟子屈原野
TEL015-482-1530

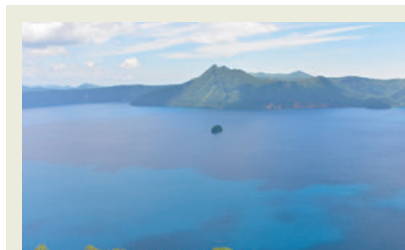
【営業時間】8:00～18:00
（冬期〈11月～3月〉8:00～17:00）

【休業日】無休

【URL】<http://www.masyuko.or.jp/pc/sightseeing/masyuko.html>



屈斜路湖も一緒に 摩周第三展望台



第一展望台からの風景とは違った湖の色、摩周岳の表情を楽しめます。摩周湖を背にすると、屈斜路湖や硫黄山、藻琴山を一望できるのが第三展望台の特徴。摩周湖がよく晴れて見えたら縁談が遠のくという噂は、想像上だけの話だそうなので安心を。



美しさに
時間を
忘れます

【休業日】冬季通行止めの間

【URL】<http://www.masyuko.or.jp/pc/sightseeing/masyuko.html>



標茶町

釧路湿原にある最大の海跡湖・塘路湖 塘路湖エコミュージアムセンターあるこっと

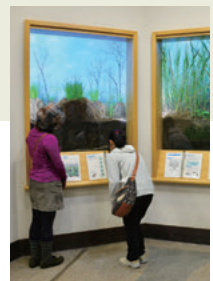


釧路湿原が育む魚や植物の生態、水をテーマにした映像「湿原の詩」「不毛の大地、水の大地」やジオラマなどで釧路湿原の魅力を紹介します。湿原に多く自生するハノキや、湿原をイメージした解説パネルが並ぶ館内は、木のぬくもりあふれる心安らぐ空間。かつて海であった塘路湖を、館内からも眺めることができます。

暖炉を囲んでひと休みもできます♪



センターから出発できる自然散策路は、塘路湖周辺の自然を肌で感じられるスポット。四季を通して楽しめます。



川上郡標茶町塘路原野
TEL 015-487-3003
入館料 無料
営業時間 4月～10月/10:00～17:00
11月～3月/10:00～16:00
休業日 水曜日、年末年始(12/29～1/3)
URL <http://www.navi-kita.net/shisetsu/toro/>

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

標茶町

塘路湖を見下ろせる展望台 サルボ展望台

釧路湿原にある湖の中で最大の湖である塘路湖をはじめ、周辺の4つの沼(サルレントー、ポントー、エオルトー、マクントー)を眺めることができるサルボ展望台。塘路湖の広大さ、湿原の豊かさを感じます。登山道のような道を20分ほど歩くので、動きやすい服装がおすすめです。



川上郡標茶町字塘路
TEL 015-485-2111
(標茶町役場)
URL http://city.hokkai.or.jp/kkr946/tenbou_sarubo.sarurun.html



東西25km、南北36kmという広大な面積を誇る釧路湿原は、多様な生物を育む、いわば命のゆりかご。3000年～4000年という長い年月をかけ、海底だったところに土砂や泥炭がたまり、現在の釧路湿原が形成されました。

登山気分が味わえます♪

標茶町

湖面の静寂が美しい シラルトロ湖

シラルトロ湖は、釧路湿原の中でも水鳥が多いことで知られており、特別天然記念物のタンチョウや天然記念物のヒシクイ、オオワシ、オジロワシ、オオハクチョウなどが訪れます。青空や夕日、森の木々など、季節や時間帯によって変化する美しい風景を湖面とともに味わってみませんか？



季節の移ろいを感じます



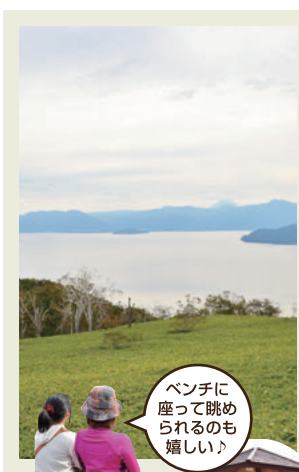
川上郡標茶町シラルトロエトロ茅沼
TEL 015-485-2111
(標茶町役場)
URL http://city.hokkai.or.jp/kkr946/mokudou_touro_shiraru.html

サルボ展望台

シラルトロ湖

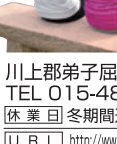
弟子屈町

屈斜路湖を北側から展望 藻琴山展望駐車公園



ベンチに座って眺められるのも嬉しい♪

日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖を展望できるスポット。標高430m地点から雌阿寒岳、雄阿寒岳、斜里岳などの山々に囲まれた屈斜路湖を、ゆったり眺めることができます。眼下に広がる大パノラマが、日常を忘れさせてくれます！



川上郡弟子屈町字川湯
TEL 015-482-2200(摩周湖観光協会)
休業日 冬期間通行止の場合あり
URL http://www.masyuko.or.jp/pc/sightseeing/t_mokoto.html



藻琴山展望駐車公園

阿寒国立公園の魅力を展示

川湯エコミュージアムセンター

川湯地域の自然情報を、6つのブースに分けて紹介しています。休憩スペースや映像ルーム、ギャラリーなどがあり、色々な角度から自然情報に触れることができます。新たな発見があるかも。屈斜路湖のブースでは、釣りのおもちゃで遊びながら、屈斜路湖に生息する生物について知ることができます。



川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6
TEL 015-483-4100

入館料 無料
営業時間 4～10月/8:00～17:00
11～3月/9:00～16:00
休業日 毎週水曜日
●7月第3週～8/31まで無休
●水曜が祝日の場合翌日休み
●年末年始 (12/29～1/3)



U R L http://www6.marimo.or.jp/k_emc/



摩周湖のブースでは、小さな模型を使って透明度の計測が体験できます。澄んだ水の美しさ、尊さを感じます。



街なかでは見られない満点の星空

摩周湖星紀行

新月の前後1週間くらいは天の川が見えやすく、満月の前後1週間くらいは月明かりと星が綺麗に見えます。



曇りの場合でも、夜の摩周湖の魅力や星のお話などが楽しめます。夜空のスクリーンに、ガイドさんがポインターを使って説明してくれます(体験時間約30分)。



幻想の中にいるみたい

集合場所/川湯温泉または摩周第一展望台
※詳細はお問合せください
TEL 015-483-2101(ツーリズムてしがが)
参加料 大人: 2,700円(税込) [中学生以上]
小人: 1,700円(税込) [小学生]
幼児: 500円

申込 当日18:30まで
時間 19:30～21:00 休業日 年中無休

U R L <http://www.tourism-teshikaga.co.jp/>

摩周湖星紀行は、専属ガイドによる星空の解説とともに、摩周第一展望台で行われる人気ツアーです。秋から冬にかけては星が最も綺麗な時期といわれ、冬のダイヤモンドといわれる6つの1等星が見られるようになったり、しし座流星群が現れたりと天空のイベントが目白押し!

阿寒湖と雄阿寒岳のコントラストが美しい

阿寒湖畔展望台

阿寒湖温泉街から約2km、阿寒湖と雄阿寒岳を一望できる展望台。阿寒湖畔スキー場の中腹に位置し、ゲレンデ途中までは車で行けるため気軽に阿寒湖の全景を一望できます。冬にはスキー場となるため、雪が積もるまでの隠れた絶景スポットです!



釧路市阿寒町阿寒湖温泉
TEL 0154-67-3200
(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構)
※11月から5月はスキー場として営業しており
展望台での利用はできません
U R L <http://www.lake-akan.com/view/>

阿寒湖畔展望台



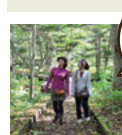
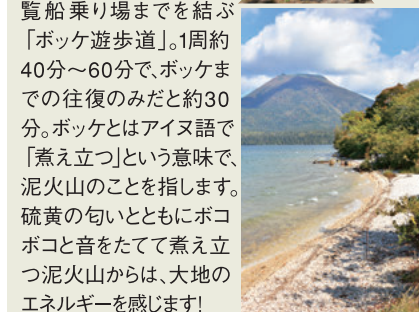
熱い泥が沸き立つボッケ

ボッケ遊歩道

阿寒湖畔エコミュージアムセンターから阿寒湖遊覧船乗り場までを結ぶ「ボッケ遊歩道」。1周約40分～60分で、ボッケまでの往復のみだと約30分。ボッケとはアイヌ語で「煮え立つ」という意味で、泥火山のことを指します。硫黄の匂いとともにポコポコと音をたてて煮え立つ泥火山からは、大地のエネルギーを感じます!



マリモの唄の歌碑。歌えるかな?



釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目1-1
TEL 0154-67-4100
(阿寒湖畔エコミュージアムセンター)
U R L <http://business4.plala.or.jp/akan-eco/>

くしろで唯一の遊覧船

阿寒湖遊覧船



雄阿寒岳の麓の木々や湖に浮かぶ島々を、湖越しに眺められるのは遊覧船ならでは。手つかずの自然を体感できる湖上はまさにパワースポット! 所要時間は85分で大人1,900円、子供990円(税込)。船内から阿寒湖の魅力を再発見してみませんか?



アイヌ文様で飾られた遊覧船。船内にも、木彫りの人形や楽器などの民芸品が飾られています。

折り返し地点となるチュウルイ島には「マリモ展示観察センター」があり、大水槽の中で群生しているマリモや、巨大なマリモを見ることが出来ます。



釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-5-20
TEL 0154-67-2511
※運行スケジュールは下記ホームページにてご確認ください
休業日 冬期
U R L <http://www.akankisen.com/exBoat1.html>

美術館・動物園から湿原へ

湿原の見方が変わる・深まる

総移動距離
約80km

釧路市

湿原の中にある動物園 釧路市動物園



釧路市動物園の人気スポットである「北海道ゾーン」。エゾリスやエゾクロテン、シマフクロウなど、北海道で見られる動物たちが暮らしています。湿原風景を楽しめる「木道散策路」からは野鳥が飛び交う姿が見られるかも。オススメは、学芸員さんによるガイドを聞きながらの散策。「北海道ゾーンガイド」は平日13時15分から、土日祝日は11時45分から「北海道ゾーンワンポイントガイド」を行っています。



エゾヒグマの観察窓からは、体長2mほどのエゾヒグマたちを間近で見ることができます。その場でおやつをあげられるので、おねだりする可愛い姿が見られるかも！



全国でここでしか見られない「クマタカのフライト」は毎年11月下旬頃～3月上旬頃まで。クマタカが目の前を滑空する姿は圧巻です！一緒に写真を撮ることもできます。

※クマタカの体調によりフライト時期が変更になる場合があります。

釧路市阿寒町下仁々志別11番
TEL0154-56-2121

開園時間 9:30～16:30 (4/10～体育の日)
10:00～15:30 (体育の日～4/9)

休園日 12月・1月・2月の毎週水曜日
(祝祭日に当たる日を除く)
年末年始 (12/29～1/2)

入園料 570円(税込) (中学生以下は無料)
※「しづびん55」バス利用可能

U R L <http://www.city.kushiro.lg.jp/zoo/>



人気のホッキョク
グマ「ミルク」

釧路市動物園

釧路市

阿寒ポークやエゾシカ肉も楽しめる 丹頂の里温泉 美肌の湯 赤いベレー

炭酸水素イオンの含有量が全国トップクラスで、美肌効果の高い源泉100%かけ流しの温泉が魅力の「赤いベレー」。裏手に広がる緑地では、4月下旬から10月中旬までキャンプやバーベキューが楽しめます。木製のアスレチック遊具が並ぶ広場は子供たちに大人気！館内の「レストラン鶴」で味わう、阿寒の鹿肉や馬肉などのご当地グルメにも注目。



阿寒の自然を背景に、阿寒の食と温泉、アウトドアが楽しめる地元民にも人気のスポット。パークゴルフや釣り、トウモロコシの収穫など様々な体験ができます。



釧路市阿寒町23線36番地
TEL0154-66-2330

営業時間 平日 11:00～15:00
17:00～20:30
日・祝日 11:00～20:30

※時間は、レストラン鶴の時間です

※阿寒マルシェの営業時間は10:00～17:00です

定休日 年中無休

U R L <http://www.akan.jp/>



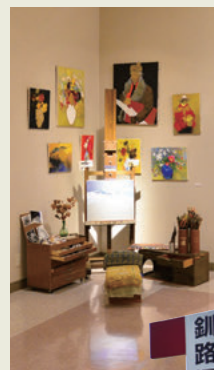
2015年12月にオープンしたばかりの阿寒マルシェには、地元、釧路の名産品が盛りだくさん。阿寒ICから車ですぐ行ける場所にあるので、立ち寄りやすいのも魅力です。

釧路市

絵画作品で釧路湿原を感じる 釧路湿原美術館



湿原の画家として親しまれる、佐々木榮松先生の作品を後世に伝えたい、との想いで設立され、約600点もの作品が収蔵される美術館。魂が込められた油絵の数々やデッサン、愛用品などを展示。湿原の素晴らしさやいのちの尊さが、独特の色彩、描写によって伝えられています。



釧路市阿寒町上阿寒23線38番地
TEL0154-66-1117

営業時間 10:00～17:00 (入館16:30まで)

休館日 年中無休

入園料 大人/500円(税込)

高・大学生/300円(税込)

小・中学生(父母同伴)/無料

U R L <http://www.12.plala.or.jp/kushiro/>



釧路湿原美術館

赤いベレー

釧路湿原美術館

生い茂る草木が広大に続く 釧路市湿原展望台



「釧路市湿原展望台」は、釧路を代表する建築家・毛綱毅曠により設計された、ヤチボウズをモチーフとした建物。釧路湿原を語る上で欠かせないスポットです。



Welcome to Kushiro
釧路湿原国立公園

湿原の
広さに圧倒
されます！

湿原展望台から15分～20分ほど散策すると「サテライト展望台」に到着。目の前に広がるのは釧路湿原の壮大な景色。湿原展望台の中に入ると、湿原に生息する魚たちの展示や「水の湿原」と題したジオラマ、湿原のライブ映像が見られる映像モニターなどがあり、釧路湿原の成り立ちや現状について知ることができます。釧路市街と湿原が一望できる屋上からの眺めも必見！



湿原展望台の周囲2.5kmを約1時間で散策できます。「こもれびの階段」や「つり橋」などがあり、冒険気分が楽しめます。



ちょっと
したスリル
を味わえ
ます！

釧路市北斗6-11
TEL0154-56-2424

営業時間 8:30～18:00 (5/1～10/31)
9:00～17:00 (11/1～4/30)
※最終入館は閉館時間の30分前まで。

休館日 年末年始 (12/31～1/3)

入館料 一般・大学生／470円(税込) 高校生／250円(税込)
小・中学生／120円(税込) ※「しづげん55パス」利用可能

U R L <http://www.kushiro-kankou.or.jp/tenboudai/>



蛇行する釧路川と釧路湿原を一望 細岡展望台



今回の取材時期は9月。
夏にはまた違った
表情が見られます。

夏の
細岡展望台
からの景色
です！



釧路町達古武22
TEL0154-40-4455 (細岡ビジャーズラウンジ)
入館料 無料

U R L http://city.hokkai.or.jp/kr946/tenbou_hosooka.html

釧路川の大きな蛇行が見られる展望台として人気の「細岡展望台」。美しい夕日が見られることでも知られており、刻一刻と変化する空の色や、川に映る夕日の美しさは時間を忘れてしまうほど。北側に広がる雌阿寒岳、雄阿寒岳などの山々の景色も見どころです。



展望台から徒歩5分ほどの場所にある「細岡ビジャーズ・ラウンジ」。売店や暖炉のある休憩スペースがあり、心落ち着く空間です。



しづげん55パス

「しづげん55パス」は、5日間有効で下記の5つの観光施設に入館することができるお得なパスポートです。

- 釧路市湿原展望台
- 釧路市丹頂鶴自然公園
- 釧路市動物園
- 釧路市立博物館
- 阿寒国際ソルセンター



5つの施設の大人の通常入館料
合計2,450円のところ

しづげん55パス **1,020円**
(税込)

販売場所

- ・バス対象5施設
- ・釧路市観光案内所
(JR釧路駅内・たんちょう釧路空港内)
- ・釧路フィッシャーメンズワープMOO ほか

お問合せ先 釧路市産業振興部観光振興室 TEL0154-31-4549



釧路市

阿寒国立公園の自然を表情豊かに紹介 阿寒湖畔エコミュージアムセンター



最前線の研究が行われている「まりも研究室」がセンターに隣接。研究室の一部を覗いてみるができます。

釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目1番1号
TEL0154-67-4100

開館時間 9:00～17:00

休館日 火曜日(祝祭日の場合は翌日)・年末年始

レンタル料金

スノーシュー／2時間300円・終日600円(税込)

歩くスキー／2時間500円・終日1,000円(税込)

URL <http://business4.plala.or.jp/akan-eco/>



阿寒国立公園の阿寒湖を中心として西側の自然について紹介しています。展示室の床一面に大きな航空写真になっているなど、写真やイラスト、リアルなオブジェを使った分かりやすい展示が特徴。冬期はスノーシュー・歩くスキーの貸し出しがあり、結氷した湖上の雪原をスノーシューで歩くアクティビティが人気。

弟子屈町

湯けむりと硫黄の香りで温泉街を実感 川湯温泉



川湯温泉街の中心にある広々とした足湯。温泉街の雰囲気を感じつつ、ゆったりと満喫できる知る人ぞ知る足湯です。真横にはスカイブルーの美しい湯の川が流れ、そのせせらぎや湯けむりに癒されます。周辺には散策林が広がり、ストレスを和らげる癒しのスポットとして注目されています。



川湯温泉街の足湯

弟子屈町川湯温泉園地

お問い合わせ先 TEL015-483-2670

(川湯温泉観光案内所)

URL http://www.masyuko.or.jp/pc/onsen/ashi_kawayu.html



弟子屈町

雄大な屈斜路湖のそばで 屈斜路湖畔 露天風呂



湖畔の砂場を掘ると温泉が湧き出るといふ、全国的にも珍しい温泉の楽しみ方ができる「砂湯」。スコップを使って深くまで掘ると、自作の露天風呂のできあがり。冬は白鳥が見られる湖としても人気が高く、弟子屈町を代表する観光スポットです。砂場を掘る自信がないという方は、気軽に楽しめる足湯をどうぞ。



砂湯

弟子屈町屈斜路湖畔砂湯

お問い合わせ先

TEL015-482-2200

(摩周湖観光協会)

URL <http://www.masyuko.or.jp/pc/sightseeing/sunayu.html>

売店近くまたは売店内で、温泉療法にも用いられる飲泉ができます。効能豊かな屈斜路温泉は、さりとて口当たり。



コタンの湯

弟子屈町屈斜路丹

お問い合わせ先

TEL015-482-2940(弟子屈町役場)

※清掃中は入浴できません(火曜日・ほか不定期)

URL <http://www.masyuko.or.jp/pc/onsen/cotan.html>



弟子屈町民によって造られ、そして守り継がれている秘湯。男女別の脱衣場があり、露天風呂の中央は大きな岩で仕切られているため、完全な混浴ではありません。24時間入浴可能でなんと無料。美幌峠などが見渡せる絶景と、目の前に広がる湖を眺めながらの入浴は格別。10月下旬から4月くらいまでは、白鳥が間近で見られます。

手作りの
湯もりを
感じます



美しい舞姿に酔いしれる タンチョウに会いに行こう！

総移動距離
約55km

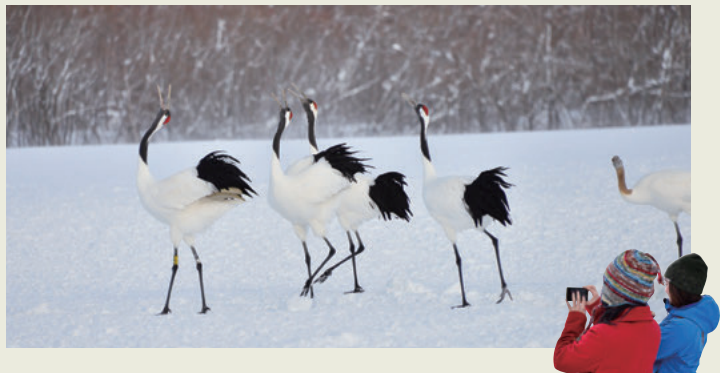


釧路市

人工給餌発祥の地

阿寒国際ツルセンター[グルス]

タンチョウ保護のための調査研究を重ね、タンチョウと共存する地域の発展を目指す国内唯一の施設。乱獲や農地開発により一時は絶滅したといわれたタンチョウでしたが、その姿がふたたび確認され、昭和25年、故・山崎定次郎さんにより初めての人工給餌に成功。現在の給餌活動は、三代目であり野菜の栽培も行っている山崎一彦さんにより引き継がれています。



目を奪われます！

毎日午後2時に行われる給餌には、オジロワシやオオワシなどもやって来て、あちこちで魚の奪い合いが繰り広げられます。農地などでは見られない、グルスならではの光景のため、観光客やカメラマンは大注目！鳥たちが入り乱れるお魚タイムは、一見の価値ありです。



釧路市阿寒町上阿寒23線40番地

TEL0154-66-4011

開館時間 9:00~17:00

休館日 年中無休

入館料 大人／470円（税込）

小中学生／240円（税込）

URL <http://aicc.webcrow.jp/>

地図



会いに
来てね！



タンチョウは、全長約1m40cmという日本最大級の鳥で、翼を広げると約2m40cmに！迫力のある大きさですが、性格は神経質なため、撮影時にフラッシュを使わないなどの注意が必要です。



飛んでいる姿はやっぱり優雅！



館内の望遠鏡でも楽しめます

グルスの分館であり、暖かい館内から給餌場集まるタンチョウたちが見られるという嬉しいスポット。観察に訪れる観光客や、カメラマンたちのオアシスとなっています。12月下旬から3月の第2日曜日まで「軽食喫茶 ひな鶴」がオープンするため、長時間に渡る撮影や観察時も安心。

タンチョウ観察センター

釧路市阿寒町上阿寒23線39番地 TEL0154-66-3460

開館時間 8:30~16:00(11月~1月) 8:30~16:30(2月~3月)

開館期間 11/1~3/31(期間中無休)



館内では、タンチョウの四季の姿が見られる映像をはじめ、世界のツルの模型、生態を紹介したパネルなどを展示しています。



阿寒国際ツルセンター[グルス]

季節を問わずタンチョウに会える 釧路市丹頂鶴自然公園

国の特別天然記念物であるタンチョウを守るために設立された通称鶴公園。保護増殖を主な目的とし、取り組んだのが人工ふ化。昭和45年、飼育員だった高橋良治さんにより、世界初の人工ふ化に成功しました。施設内には、その時使われた装置や鶴公園のタンチョウの系図が展示されています。



一度パートナーになると生涯添い遂げるというタンチョウ。その仲睦まじい姿を間近で見ることができます。



大切に育てられているんだ



地図

釧路市鶴丘112 TEL0154-56-2219

開館時間 9:00~18:00 (4/10~体育の日)
9:00~16:00 (体育の日の翌日~4/9)

休館日 12/31~1/3

入館料 大人/470円(税込) 小中学生/110円(税込)

URL <http://kushiro-tancho.jp/>

気軽に立ち寄れるスポット 鶴見台



平均
約60km/h
で飛ん
でます



鳴き方
には色んな
バリエー
ションが!

タンチョウへの冬の給餌を行っていた小学校が廃校になったことから、近くに住む渡部トメさんが意志を引き継いだことがはじまり。それ以来、約40年給餌を続けています。警戒心が高いタンチョウですが、地元の方々が一冬ごとに、長い年月をかけて築いてきた信頼関係があるからこそ、給仕場に集うタンチョウたちを見ることができるのです。

地図

阿寒郡鶴居村下雪裡
TEL0154-64-2114
(鶴居村産業振興課)

観覧時期 11月~3月

URL http://city.hokkai.or.jp/~kk946/shisetsu_tsurumidai.html

最大約200羽のタンチョウが飛来し、午前午後1回ずつ給餌が行われています。頭上を舞う優美なタンチョウの姿が見られるかも。

環境保護活動の拠点

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

驚かさ
ないでね



日本野鳥の会が運営するネイチャーセンター。常駐するレンジャーの解説とともに、保護活動を紹介したパネル展示や映像、望遠鏡を使ったタンチョウ観察が楽しめます。



夕方、
ねぐらへと
飛び立ち
ます

タンチョウが給餌場にやって来るのは、地面が凍って食べ物が少ない11月頃。2月には恋の季節を迎え、求愛ダンスが見られるように。3月から5月に卵を産むため、3月中旬頃には給餌場から姿が見られなくなります。この給餌場も、酪農家であった故・伊藤良孝さんにより守られたものでした。

地図

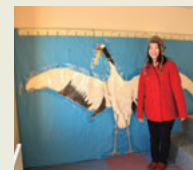
阿寒郡鶴居村字中雪裡南
TEL0154-64-2620

開館時間 9:00~16:30

休館日 火曜日・水曜日(祝日に当たる場合は開館)
12/26~12/31、4/1~9/30

入館料 無料

URL <http://park15.wakwak.com/~tancho/index.html>



1月から3月中旬まで行われる「のせ爺のタンチョウの舞ひとり芝居」にも注目です。公演日は土日。一人四役、帽子を変えて演じます!



魅力いっぱい
くしろ市
8市町村で
待ってるよ!

ガッホくん
(釧路町)

牛山豚彦
(弟子屈町)

うみえもん
(厚岸町)

つるぼー
(鶴居村)

まりむ
(釧路市)

コイタクン
(白糠町)

メイカちゃん
(浜中町)

モルル
(標茶町)

ミルクックさん
(標茶町)



釧路市

くしろし

2つの国立公園のある自然の宝庫、霧と夕日が幻想的な観光都市。

代表的な観光地は「釧路湿原」と「阿寒」の2つの国立公園で、タンチョウやマリモといった特別天然記念物が見られる貴重な地域です。名橋「幣舞橋」から見る美しい釧路港の夕日は、世界三大夕日と称され、撮影スポットとして人気を集めています。

炉端発祥の港町は、グルメの宝庫。



「炉端」発祥の地と言われる釧路市は、炭火で食べる魚介類がおすす。また、「和商市場」では、どんぶり飯に新鮮な刺身をお好みでのせてまわる『勝手丼』が有名。ほかに、「そば」「釧路ラーメン」「ザンギ」「寿司」など美味しいものがたくさん盛りです。



釧路町

くしろちょう

釧路湿原を見渡せる絶景スポットやシーサイド・ドライブもおすすめ。

広大な「釧路湿原」を一望する「細岡展望台」は、蛇行する川が間近に見られる絶景スポットの1つ。近隣にはキャンプ場があり、湖でのカヌーや湿原散策などが楽しめます。また、太平洋側には奇岩が多く点在し、海沿いのドライブがおすすめです。

濃厚な牡蠣と、やわらかポークが人気。



仙鳳趾(せんぼうし)産「牡蠣」が人気。殻に対して身が大粒で、強い甘味と濃厚でコクのある味わいが特徴です。また、海藻エキスを配合した餌で育てた柔らかい肉質の「海藻ポーク」も好評。新鮮な野菜も揃う、釧路町地産地消センター「ロ・バザール」でどうぞ。



厚岸町

あつけしちょう

ダイナミックな厚岸湾の眺望、花々と野鳥が息づく大自然が魅力。

厚岸湾を望むダイナミックなビューポイントが点在する厚岸町。春は桜の名所「子野日公園」「国泰寺」、夏は原生花園「あやめヶ原」など、花の季節もおすす。また、野鳥の楽園「別寒辺牛湿原」ではバードウォッチングやカヌーなども楽しめます。

全国的に有名なブランド牡蠣の産地。



「道の駅厚岸グルメパーク(厚岸味覚ターミナル・コンキリエ)」では、人気の「かきぶた合戦丼」など、特産品の牡蠣を味わえる多彩なメニューが揃うほか、お土産品も豊富です。また、漁協の直売店では、新鮮な魚介類をその場で品定めて発送することができて便利。



浜中町

はまなかちょう

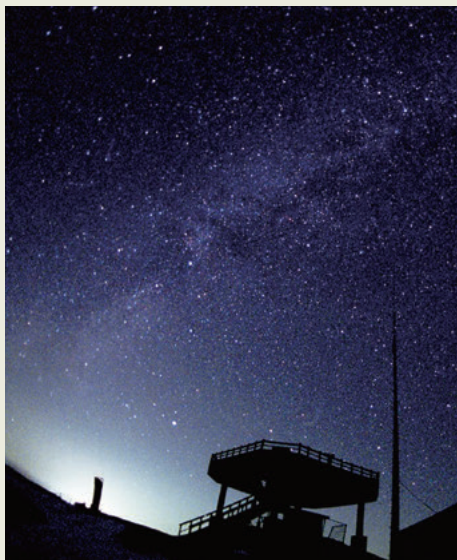
花の楽園「霧多布湿原」や岬の絶景、ルパン三世の町おこしにも注目。

花の湿原として名高い「霧多布湿原」や、「霧多布岬」「アゼチの岬」などの絶景スポットが多数あります。近年はモンキー・パンチの故郷として「ルパン三世」によるまちおこしが盛んで、随所にルパンー味の姿を見ることができ、イベントも開催されています。

豊かな海の幸と、上質な酪農製品が自慢。



新鮮な魚介類が味わえる海鮮丼や寿司はもちろん、ファームレストランやチーズ工房など酪農地帯ならではの魅力ある食材やメニューもおすすです。特に牛乳は大手アイスクリームメーカーに原材料として供給され、その品質の高さがうかがえます。



標茶町

しべちやちょう

見渡すかぎりの広大な酪農風景、湖や川で楽しむアクティビティも充実。

広大な酪農地帯を 360 度ぐると見渡せる「多和平」は星空ウォッチングにも最適。また茅沼温泉をはじめとする温泉も点在し、湯めぐりも楽しめます。「塘路湖」ではカヌーや冬場のわかさぎ釣りが楽しめるほか、釧路川流域でのフィッシングも人気です。

品質の良さで評判の「星空の黒牛」が絶品。



牧場と隣接したレストラン「グリーンヒル多和」では地場産の美味しいメニューを提供してくれます。特に、ブランド牛の「星空の黒牛」はジューシーでやわらかい肉質が好評で人気上昇中です。他にもヘルシーな多和平サフォークや自家製ソーセージカレーがおすすめ。



弟子屈町

てしかがちょう

摩周湖と屈斜路湖が有名な観光地。湯どころとしても人気のリゾートです。

屈指の透明度を誇る「摩周湖」と、巨大なカルデラ湖「屈斜路湖」を擁する観光エリアで、峠からの雲海はぜひ早起きして見る価値があります。また、源泉かけ流し宣言をしている「川湯温泉」をはじめ、数ある温泉は古くからの湯めぐりスポットとしても有名です。

香りの高い摩周そば、酪農製品も人気。



そば好きに高い評価を得ている特産の「摩周そば」をはじめ、ファームレストランやオーベルジュなどでも地場産食材を楽しめます。アイスクリームショップや体験牧場などで、新鮮な酪農製品を味わうのもドライブの楽しみのひとつです。



鶴居村

つるいむら

特別天然記念物のタンチョウが広大な酪農風景に舞う「美しい村」。

その名のとおり鶴の居る村として有名で、冬場は給餌場でたくさんのタンチョウを見ることができ、大勢のカメラマンが押し寄せます。牧歌的な雰囲気あふれる風景が自慢で「日本で最も美しい村」連合にも加盟。モール泉の鶴居村温泉もおすすめ。

新鮮な生乳から作るナチュラルチーズ。



チーズ工房「酪楽館」では自分で作ったチーズやアイスクリームを楽しめます。道道沿いを中心におしゃれな雰囲気のレストランも多く、新鮮な野菜や乳製品を使った地場産メニューを、ゆったりした時間と空間に包まれていただくことができます。



白糠町

しらぬかちょう

美しい海岸線を望む道の駅が人気。豊かな森では驚きの体験が待っている。

広々とした太平洋の潮風を感じる「恋問海岸」はカップルやファミリーにおすすめのビューポイント。隣接する道の駅「しらぬか恋問」では町の特産品などのショッピングも楽しめます。また庶路川上流の「庶路ダム」は紅葉スポットとして名高く、ウォークイベントも開催されています。

新鮮な海の幸や、チーズ、食肉も充実。



ヤナギダコやモガ二、ししゃもなどの新鮮な魚介類をはじめ、鹿肉や羊肉の加工品も豊富です。道の駅弁として有名な「この豚丼」は地元ファンも多いご当地グルメのひとつ。紫蘇の産地でもあり、紫蘇焼酎「鍛高譚」をはじめ、様々な商品が生まれています。